

授業科目名 <英訳>		産業・環境衛生学 Occupational health and environmental health sciences			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 小泉 昭夫 医学研究科 准教授 原田 浩二				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2016・ 前期前半	曜時限	木2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
現代の環境問題、産業衛生について概説し、毒性学を基礎にした健康影響評価について講義する。											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の環境問題、産業衛生について述べることができる。 ・用量反応関係、LD50、閾値、種差および毒性学の基礎的事項について述べるができる。 ・リスクアセスメントについて述べるができる。 ・化学物質の規制の種類について述べるができる。 ・代表的な化学物質の代謝過程を予測できる。 ・発がんの生物学的基礎と発がん性物質のリスク評価について述べるができる。 											
[授業計画と内容]											
コース予定・内容											
第1回（小泉） 4月14日将来の公衆衛生領域の専門医：キャリアー創造1.Environmental Health Sciences in Primary Health Care											
第2回（小泉） 4月21日環境汚染物質： 重金属と有機汚染物質											
第3回（原田） 4月28日汚染物質の代謝および動態・シミュレーション:Neonicotinoids											
第4回（里村） 5月12日産業保健入門											
第5回（原田） 5月19日発がんの生物学とリスク評価：福島第一原発事故を例として											
第6回（原田） 5月26日環境汚染の防止に向けて： 規制と管理											
第7回（小泉） 6月2日試験											
第8回（小泉） 8月4日予備日（講義内容未定）											
[履修要件]											
MPHコア選択 環境衛生学分野必修											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点（出席を含む）50%、試験50%											
[教科書]											
講義中の配布資料											
[参考書等]											
（参考書）											
分子予防環境医学研究会 『改訂分子予防環境医学』（本の泉社）											
[授業外学習（予習・復習）等]											
後期の「中毒学」および「On the Bench Training」を受講するためには、この講義を受講することが必須です											
（その他（オフィスアワー等））											
人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限10人まで可能											
※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											